

2016年度 明細書作成セミナー

化学分野の発明の捉え方、表現の技術と実践

化学分野における発明の捉え方、出願すべき発明、有効な特許とは
発明提案書のまとめ方、説明の仕方

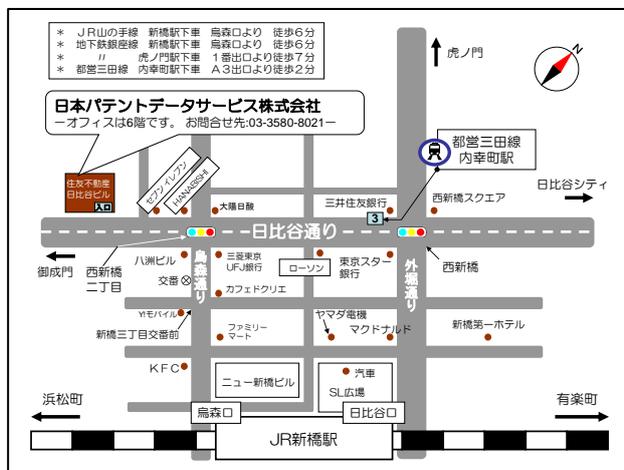
A
16

実習
あり

入門 ← レベル → 上級



化学分野における研究・技術者、初心知財部員のための発明の表現方法を徹底的に学ぶ講座です。どのような発明を出願すべきか、自社ビジネスを意識し権利の利用を考慮した表現はどうあるべきか、発明をどのように捉え、どのように説明すれば弁理士、知財担当者に意図が伝わるかを学びます。最終的には自ら明細書を書くことができる基本的な考え方を習得します。また、化学分野特有の留意点も詳しく解説します。企業においてビジネスの観点に立った特許明細書を数多く手がけ、現在も現役で明細書作成や出願業務に取り組んでいるベテラン弁理士がノウハウをお伝えします。



講 師：弁理士 竹澤 誠
特許業務法人 S S I N P A T 代表
元 エクシネーブル(有) 知的財産マネージャー

場 所：日本パテントデータサービス(株) セミナ室
東京都港区西新橋2-8-6
住友不動産日比谷ビル6F
TEL:03(3580)8021 FAX:03(5512)7810

時 間：1日間コース (午前 10:00～午後 4:00)

受講料：20,000 円 (税別)

定 員：24 名 (先着順申込み)

日 程：7月12日(火)

- 【申込方法】 FAXまたはeメールでお受けいたします。FAX: 03(5512)7810 メール: chizai-semi@jpds.co.jp (受講票をメールまたはFAXにてお送り致します。5営業日以内に届かない節はご一報ください。)
- 【キャンセル】 セミナー開催日前10日以降にキャンセルされた場合には、受講料を請求させていただきます。但し講師の都合などで急遽開催が見送られた場合には受領済みの受講料を返却させていただきます。

お申込日 年 月 日

「化学分野の発明の捉え方、表現の技術と実践」申込書

日本パテントデータサービス株式会社 知財研修部 行 (FAX: 03-5512-7810)

会社名				部課名		
住 所	〒					
TEL				FAX		
参加希望日:	<input type="checkbox"/> 7月12日					
受講者氏名				所属		
E-mail				特許経験	<input type="checkbox"/> 有(年) <input type="checkbox"/> 無	
受講者氏名				所属		
E-mail				特許経験	<input type="checkbox"/> 有(年) <input type="checkbox"/> 無	
支払方法	<input type="checkbox"/> 単独請求書・銀行振込 <input type="checkbox"/> 当日現金 <input type="checkbox"/> 合算請求(お取引コード:)					

備考： ※弁理士の方は弁理士(登録)番号をご記載ください。(本研修は、日本弁理士会の継続研修としての認定を申請中です。本研修を受講し、所定の申請をすると、外部機関研修として単位が認められる場合があります。)

セミナースケジュール（化学分野の発明の捉え方、表現の技術と実践）

午前 10:00 10:05	講師ご紹介 第一部 発明の特定と出願までの手続き ・発明の特定と出願の決定 ・必要書面の作成および出願 ・発明の特定に関する演習
11:45	休憩／昼食
12:45	第二部 審査請求から権利化までの手続きと明細書の役割 ・審査請求、拒絶理由の通知、査定 ・審判、審決取消訴訟 第三部 権利の利用という観点からみた明細書作成のポイント ・損害賠償請求訴訟 ・無効審判 ・ライセンス
14:20	休憩
14:30	第四部 化学明細書で留意する点 ・化合物／製造方法、組成物／製造方法などに関する ・化学分野に特有のクレーム
15:50	質疑応答
16:00	終了

【備考】

- ・ 一部演習を伴います。
- ・ セミナーご参加の方で事前にご質問や特に説明をお聞きになりたい内容がございましたらお申出下さい。可能な限りお答えさせていただきます。